

HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2021 Vol.107

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介
だれもが働きやすい職場づくりを
社会福祉法人 あすなる会
特別養護老人ホーム「高草あすなる」
- P5 チャレンジ福祉の仕事【介護福祉士】
社会福祉法人 あすなる会
- P6 福祉専門職の紹介【介護福祉士】
利用者の言葉を自信につなげて
- P7 福祉人材センター情報
「福祉のお仕事」への就職・定着を応援します!!
鳥取県福祉人材センターのご紹介
- P8 ボランティア・市民活動センター情報
とっとりボランティアバンク登録団体紹介
ヒューマンケア「モモの家」
- P9 ボランティア・市民活動センター情報
鳥取中央育英高等学校
「ボランティア・サークル」
- P11 ことぶき高齢者情報
ハイビスカスでつながりづくり「松友会」
- P12 ことぶき高齢者情報
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

地域、職員、利用者、家族の幸せのために



社会福祉法人 あすなろ会 特別養護老人ホーム「高草あすなろ」

鳥取県東部地域に15施設・62の事業を運営する社会福祉法人あすなろ会は、この春、厚生労働省の女性活躍推進に先進的に取り組む企業を特例認定する「プラチナえるぼし」に、中国地方で初めて認定されました。

それは、あすなろ会が「働きやすい職場づくり」に積極的に取り組んでいることに対する評価ともいえます。

田園風景が広がる鳥取市高草地区にある、法人でもっとも大きな拠点施設で、特別養護老人ホームをはじめ、デイサービスセンターやグループホームなどを併設した「高草あすなろ」を訪れ、女性活躍推進と働きやすい職場づくりの取り組みを聞きました。



※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

だれもが働きやすい職場づくりを

あすなる会は、国や県が推進する「働き方改革」とともに、独自の「働きやすい職場づくり」を積極的に進めています。それは、子育てや介護と仕事を両立できる職場環境を整え、職員が安心して長く働くことができる職場づくりです。

その中身は、年間休日121日、ノー残業デーの実施や誕生日休暇、永年勤続表彰による連続休暇、不妊治療のための休暇制度などです。

また、小学校就学前まで利用可能としている育児短時間勤務は、現場の施設長の提案で勤務時間に幅を設けています。介護にも適応した、

働きやすい勤務時間の選択ができる制度、短時間勤務も可能にし、家庭の状況に応じて可能な範囲で働くことができるようにしています。

加えて、保健師によるメンタルヘルス対策や、あすなる会独自の「職員互助会」の活用など、福利厚生面をしつかり整え、職員が安心して長く働き続けられるよう、より働きやすい環境づくりに努めています。

「福祉の心」で 共感できる場に

あすなる会は、女性活躍推進法にもとづく、厚労省の「えるぼし認定」制度では、2018年に鳥取県で第1号の「えるぼし三ツ星」認定を受けました。

そして今年、管理職の女性割合が正社員に占める女性比率の8割以上で、女性の継続就業価値が高く、時間外勤務が少なくなどの実績を評価され、中国地方

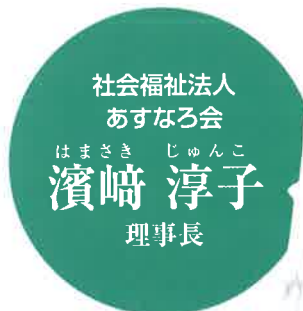
インカムを利用し、職員間で情報の共有を図る



で初めて、全国でも12番目の「プラチナえるぼし」に認定されました。

2019年に法人の理事長となった濱崎淳子さんは、「縁あって入職頂いた職員ができるだけ長く働ける職場環境づくり、制度づくりを目指してきました。あすなる会は職員の7割以上が女性です。えるぼし認定は女性が活躍する企業」として認められたことになりました」と笑みを浮かべます。

そして「福祉とは、全ての人にもたらされるべき幸せ」と認識していますので、施設の中で完結するのではなく、地域社会とともに培っていかねばなりません。それは、地域の幸せ、職員の幸せ、利用者家族の幸せをめざしていくことだと、設立して半世紀を迎えた法人の、次



世代に向けた「ネクスト50」の方向性のもとに新たな一歩を踏み出しています。

また、濱崎理事長は、法人設立時からの理念でもある「福祉の心」があすなる会のアイデンティティだと語ります。「例えば、だれかが施設に相談に来られた時、できないとむげに断らない、たらい回しにしない。

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

少しでもその方の不安を取り除き、希望をもっていただけよう相談者の想いを汲んで『何とかならないだろうか』と知恵をだし共に考えること。それが現在でも職員に綿々と引き継がれている精神『福祉の心』です。

女性の力で働きやすい環境づくり

女性の活躍推進のため、女性相談員の配置、出産後の職場復帰の際の丁寧な意向確認、管理職登用や昇任前後の細やかな面談の実施など、風通しが良く意欲的に働ける環境を整えており、2016年に6名だった女性管理職は、現在11名となっております。

鳥取市立病院に隣接する介護老人保健施設「やすらぎ」の施設長の以後樹子^{いごしげこ}さんは、6年前初めて施設長に登用されたとき「務まるだろ



「やすらぎ」以後施設長

うか々と不安でしたが、これは、自分に何か可能性があるからだと同様に考え、期待にそえる施設長をめざしてきました。法人のフォローがあったから今の自分があります」と

笑顔を見せます。

今年、特別養護老人ホーム「河原あすなろ」の施設長になったばかりの井殿修子^{いでんのぶこ}さんは、「経営や運営面では難しいことが多いですが、私の

取り得は親しみやすさなので、みんなに声をかけ、悩みや思っていることを受け止めていきたいです。これまでは話を聞いてもらう側でしたが、これからは職員の話をしっかり聞き



「白鹿あすなろ」での様子

ます」と、頼もしさを感じさせます。お二人をはじめ、あすなる会の施設長はみな、福祉の現場でキャリアを積んできた、いわゆる「叩き上げ」です。それだけに、職場を見渡し、適切なアドバイスができ、職員一人ひとりの気持ちを受け止めることができる「働きやすい環境」が生まれるのでしよう。



「河原あすなる」井殿施設長

新人職員をサポートし育成する体制

福祉人材の確保は、どの法人も直面している課題です。「学生が就職先を選ぶ選択肢となるのは、給与や休日などの待遇面はもとより、入職後の研修体制など、新人職員のフォローがどうなのかがポイントになっています」と話すのは、「高草あすなる」の大橋茂樹施設長です。あすなる会では、新規採用職員を対象に採用時から研修が年間に行

たつて行われています。そして「階層別研修」のほか、キャリアアップ研修、資格取得など、一人ひとりが成長できる研修機会が計画的に組みまれています。

さらには、新人職員をサポートする「プリセプター制度」があります。半年から1年間にわたり、現場での指導や相談役として先輩職員がマンツーマンでつきます。それは「経験から得た貴重な技術や知識を与えてくれるだけではなく、精神面での支えともなります」と大橋施設長は話します。

そして「働きやすさ」には、実務面での工夫も求められます。あすなる会では、現場職員の腰痛を問題視して、抱えない、持ち上げない、引きずらないの「ノーリフティング」での腰痛予防に努めています。

そして、利用者の安全と職員の負担軽減などのためにICTが幅広く導入されています。たとえば、介護記録のソフトを導入して体温や血圧などのバイタル測定やケース記録は個人ごとに集約され、多職種で共有されています。

また、各利用者のベッドに「眠りSCAN」というセンサーマットを敷き、パソコンで管理して状態を見守る



体温も自動的にiPadに記録される

だれもが働きやすい職場づくりは、濱崎理事長がいう「人と人、福祉は人がすべて」に集約されています。職場づくりは、その人的環境はもとより、多面的な工夫や考察が総合的に積み重なってできるように思えました。



「高草あすなる」大橋施設長

【概要】

- 所在地 本部：鳥取県鳥取市川端4丁目115番地
高草あすなる：鳥取県鳥取市大橋330
- 開設日 法人：1968年11月(認可日1968年10月)
高草あすなる：1998(平成10)年10月
- 運営主体 社会福祉法人あすなる会
- 職員数 法人全体：常勤職員749人
非常勤職員209人
高草あすなる：134名
- 利用定員 高草あすなる：介護老人福祉施設86人、
ユニット型介護老人福祉施設30人、短期入所生活介護10人、通所介護25人(湖南サテライト10人)、生活支援ハウス20人、グループホーム9人、居宅介護支援



福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応えて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

どんなに大変でも利用者の笑顔が励みに

特別養護老人ホーム「高草あすなろ」なかしら
介護福祉士 中村

みお
澤さん

「祖母が病気で身体が動かなくなつたとき、何か自分にできることはないかと思つたことがきっかけで、福祉について学びたくまりました」と話す中村澤さんは、大学に進み、福祉施設での実習を重ねる中で、やりがいを感じられたことから福祉に道を定め、あすなろ会に入職して2年目です。

この仕事に就いて、まだまだ分からないことがたくさんあるつえ、業務を覚えることで精一杯になつてしまつたことがあるという中村さんは、「気持ちに余裕がなくなると、当たり前のことにも意識が欠けてしまつたことがあるので、あいさつと笑顔だけは忘れない

よここに心がけています」
いま、利用者の身体的な介助から健康管理・リハビリなど、日常生活の支援を多職種の職員と連携しながら行っています。「上司や職員の方々も質問や相談に気軽に応じてくれて、現場の雰囲気も良く、働きやすい職場環境だと思っています」と笑顔を見せます。

そんな中で、病気の後遺症で会話や食事ができなくなった利用者が、毎日話しかけることで、単語や自らの発語が増え、口を動かせるようになってきました。そして、食事摂取ができるようになったときは、「とてもうれしく、支援のやりがいを感じました」と、経験が浅くても得られる喜びがあります。

しかし、さまざまな状態が見られる利用者の中には、なかなか心を開けない方もいます。そんなときも「傾聴」の精神で、気長に寄り添いながら話しかけを続けることで、安心されてうれしそうな表情を見せます。そして、「ありがとう」と言つてもいいえど、どんなに大変だったときでも、それ以上の感動が得られ、この仕事に就いて良かったと思えます」と中村さんは、やりがいと手応えを感じながら利用者へと向き合っています。



令和元年にあすなろ会に入職してから3年目になる廣田空々さんは、中学生のときに介護福祉施設でのボランティアを体験してから、「福祉の仕事は楽しい」と思っていました。

そんなことから、高校を卒業してすぐに福祉の現場に入りましたが、知らない専門用語も多く、覚えることや修得しなくてはならないことの多さに驚き、少し不安になったと話します。

通所リハビリテーションで働く廣田さんの一日は、朝礼のあとに送迎ドライバーとして利用者を迎えに行きます。そしてバイタルチェックを行つてから、入浴介助、昼食の介助をします。午後からはレクリエーション活動の支援をして、おやつタイムのあとに、利用者を自宅まで送り届けます。

その送迎のときには、利用者の自宅での状況や通所リハビリでの様子を家族と情報交換をするなど、支援に大切な役割も担っています。

そんな一日の中で、「利用者から介助の仕方をアドバイスされたり、入浴介助役の名を受けたりします」と、利用者からの信頼とコミュニケーションがはかられているようです。



そして、利用者へのケアを行っていると、ありがたうと言われたり家族から感謝の言葉が聞かれたりしたときは、「未熟な自分でも人の役に立っているんだなと思えてすごうれしく、これからのやりがいにつながっています」と笑顔を見せます。

知識も経験もまだまだ浅いと自覚する廣田さんは、専門書やインターネットで勉強をしながら、知識を高め経験を積み重ねて、利用者一人ひとりの想いに添ったケアが提供できるようにになりたいと前向きです。

「ありがたう」の言葉が未熟な自分の力に

鳥取市介護老人保健施設やすらぎひろた
介護士 廣田 空々さん

みお
澤さん



福祉専門職の紹介 介護福祉士

利用者の言葉を自信につなげて



社会福祉法人あすなる会
特別養護老人ホーム「白兔あすなる」
なかむら たくや
介護福祉士 **中村 拓哉**さん



介護福祉士の仕事は、介護が必要なお年寄りや障がいのある人に対して、快適な日常生活が送れるように、食事や入浴をはじめとした生活の手助けをする仕事です。さらには、家族やヘルパーなどの介

護者からの相談に応じるなど、介護者の精神面での支えになったり、指導やアドバイスをしたりすることと求められます。また、介護福祉士は国家資格で、介護の専門知識や技術を伝える、現場のリーダー的存在のケアワーカーです。

仕事の内容、やりがいや魅力は何ですか？

特別養護老人ホームで、利用者の食事や入浴、トイレの付き添いから、身の回りのお世話などの生活支援をしていますが、利用者が立ち上がる運動をしているときに「中村さんがそうして応援してくれるけん頑張るだ」と言ってもらえた、そんな一言が心の支えになり、やりがいとなっています。

「この仕事についてよかった」と思うのはどんな時ですか？

福祉の現場に就いて6年目になります。支援をしていたある利用者が、昨年亡くなられる前日に「あなたに会えてよかった、楽しかったわ、ありがとう」と言ってもらえたときは、本当につらく悲し



仕事をする中で大切にしていることは何ですか？

小学生のときに老人ホームを訪ねたときの印象は「おじいさん、おばあさんの趣味と一緒に楽しんでいる」というような、穏やかなイメージを抱いていました。しかし、その裏では介護士が奔走していたのだということを、介護の現場について身をもって知りました。しかし、どんなに忙しくても利

用者に笑顔でゆつくりと接することを心がけています。また利用者が「本当はどうして欲しいのか」を汲み取ることは、いまだに難しいのですが、先輩職員の助言から、利用者に対する視点の違いを知るなど、気づかされることがまだ多くあります。

休日は何をして過ごしていますか？

家に仕事を持って帰ることもなく、休日・休暇が多いので、釣り仲間と一日ゆっくりと釣りをしたり、バイクでいろいろなところを巡ったり、楽しくリフレッシュをしています。この仕事は人と人、そして人生を交歓する仕事だと思っていますので、気持ちに余裕を持つことが大切だと考えています。



「福祉のお仕事」への就職・定着を応援します!!

鳥取県福祉人材センターのご紹介

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-4-010001】

■福祉人材センターとは

福祉の仕事に就きたい求職者と求人事業所をマッチングして福祉職場への就労を支援しています。
※各事業の詳細・最新情報は鳥取県社会福祉協議会のホームページでご確認いただくか、問合せください。

就職 支援

●福祉人材無料職業紹介

県内の保育施設の特色や求人を知り尽くしたコーディネーターが、就職相談を通じて、あなたの希望に合った求人をご紹介します。希望により施設見学や職場体験の調整・同行をします。

●就職フェアの開催

人事担当者と面談し採用に関して情報交換できる機会を提供します。
※感染症対策を行った上で実施しています。



研修

●各研修の企画及び実施

福祉サービスの質の向上を図るために研修を行い、福祉を担う人づくりを行っています。

【実施内容】●階層別研修 ●職場環境改善研修
●介護専門職員研修 ●介護の入門的研修…など



その他 支援



令和2年度作成「介護のお仕事パンフレット」鳥取県社会福祉協議会HPにてご覧いただけます。

●福祉職場の見学

福祉の仕事について関心がある、福祉職場を見たい方を対象に希望に応じて事業所の見学機会を調整します。

●進路選択支援

主に高校生や進路指導担当者を対象に訪問や福祉の職場の見学ツアーを開催し、情報提供を行い、福祉分野への進学や就職を考える上での支援を行います。現役の介護福祉士による「介護の出前講座」の実施や高校生向けのパンフレット作成も行っていきます。

●介護の魅力発信(親子体験バスツアー)

小学生及び保護者を対象に、介護施設の見学や体験を通して介護職の仕事内容や魅力を伝えます。

●各種貸付

○鳥取県介護福祉士等修学資金貸付事業
○鳥取県保育士準備金・保育量貸付制度
一定要件を満たす方に修学資金や就職準備金等の貸付を行っています。



まずはご相談ください

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会鳥取県福祉人材センター
〒689-0201鳥取市伏野1729-5 TEL(0857)59-6336 FAX(0857)59-6341
【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)
【HP】 http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/shigoto_top/

専用サイトで求職・求人の登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索



とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

ヒューマンケア「モモの家」

ボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援を中心としたボランティア活動や災害ボランティア活動情報を速やかに入手し、発信する場として『とっとりボランティアバンク』があります。

その中でも、ボランティアとともに活動したいという登録団体を紹介します。

[ホームページ] <http://www.torivc.jp/>



昔、かまどで使っていた羽釜を囲んで思い出話に盛り上がります



矢崎タミコ施設長

役割があることに重きを置いて支援をしています。

しかし「ピントの合った支援があれば、その人本来の輝きを取り戻し、その人らしく生きていけるといふことを、たくさんの方から教えていただきました」と、20年の取り組みを振り返ります。

モモの家では、利用者の方のこれまでの日常生活をできるだけ続けていけるよう、何かすること（仕事）がある役割があることに重きを置いて支援をしています。

認知症ケアに特化したヒューマンケア「モモの家」は、「認知症は、人生を遂げさせざるほどの障がいではなく、たとえ認知症を患っても、適切なケアが届けられさえすれば、自分らしく笑顔で生きていける」という理念から、人生の仕上げの大切な日々を、その人らしく送れるように支援しています。

今この瞬間を安心して笑顔で過ごせたら

スタッフ10名をまとめる主任の杉田麻衣子さんは、認知症になり、今までの自分が失われていくような不安感、怒りや悲しみの中で過ごしている方が、料理や絵、畑仕事など、本人が今までしていたことを継続して行える充実感や役割を持つことで、生き生きと過ごせる時間が再び訪れます」と、ゆっくりと寄り添いながら、その場に一緒にいられることに喜びを感じていると笑顔を見せます。



杉田麻衣子主任

そして「人はきつと誰かに必要とされている時が幸せな時で、輝ける力が湧いてくることを学びました」と話します。

ケアスタッフは、他人だからできることや聞かせてもらえない話があります。それを送迎時や連絡ノートで家族に伝え、少しでも家庭介護の力になるように努めています。また、戦中戦後のことや不便の中にも工夫を凝らし、生活をした日々のごとく話してもらえる時間を大切にしています。人生の先輩として、こんな風に年を重ねていきたいと思う方々との出会いに寄り添えることが、とても貴重な時間になっています。

矢崎施設長は、「認知症になりたくな

い」「認知症にならないために」などの言葉を耳にするとき、「認知症は

怖い病気ではない、どんな人が傍にいても自分で分らしく生活できる」「忘れてたうていいじゃないか。今この瞬間を安心して笑顔で過ごせたら」と思えるようになりましたと、支援を続けるなかで培われた自負心を感じさせます。

モモの家は、日常の中に潜む差別のまなざしのなかで、「人はみんな違って、みんなそれぞれに素晴らしい」ということを発見する「そんな仕事であることをもう一度思い出し、それを発信していけたらと願っています。



利用者と一緒に柏の葉に替えて「カタラ」の葉で包む柏餅作り

ヒューマンケア「モモの家」

施設長 矢崎 タミコ

【問合せ先】

鳥取県米子市米原9丁目3-100
TEL: (0856) 21-5055 (直通)
E-mail: info@momo-no-ie.com

鳥取中央育英高等学校「ボランティア・サークル」

ボランティア・サークルの発足と地域からの期待

県内の高等学校で活躍しているボランティアの取組みを取材し、その活動を通してボランティア活動参加への魅力を発信する企画です。今回は、「ボランティアサークル」を今年5月に発足し、ボランティア活動に取り組んでいる鳥取中央育英高等学校(以下鳥取育英高校)です。



コナン駅前ガゼニア花壇の草取り作業へ参加

鳥取育英高校では、「ボランティア活動のお知らせ」を各クラスに掲示してきましたが、なかなか生徒の目に留まるほどの関心を寄せることができていないと感じていました。そこで、今年度からボランティアに興味や関心のある生徒に、より効果的に情報が伝わるように、登録制による「ボランティアサークル」を発足し「地域探究の時間」の担当である山根政俊教諭

は、「高校を卒業すると多くの子が一度地元を離れる。将来戻ってくるようになるかどうかは地元のことをどれだけ知っているかが重要であるが、高校生は意外と地元のことを知らない。地域ボランティアを通じて地域のモノ、場所、人に触れ地元を知って卒業してほしい」と話し、高校という短い期間のなかで、生徒ひとりひとりにボランティア活動を通して、地域とのつながり・関わりを体感してほしいと望んでいます。

立ち上げ後、すでに2回のボランティア活動に参加しています。その内の1つである聖火リレーのコースとなる場所の草取りボランティアでは、地域住民や役員職員等、約50名が集まりました。他の参加者と関わり合うとする姿勢や熱心に活動する様子に、早くも地域から今後の活躍に期待が寄せられています。

夢ゼミ 地域づくりとボランティア

6月25日は、第1回「夢ゼミ」が開催されました。「夢ゼミ」は同校で地域探究の時間の二環として毎年行なわれているもので、地域で活躍される方々の話を聞き、想いを交流させることで自分の将来を描く一歩とするための活動です。今回は「地域づくりとボランティア」をテーマに開催され、ボランティアサークルの部員と、北栄町社会福祉協議会(以下北栄町社協)生活支援コーディネーターの前田悦子さん、小谷理恵さんも一緒に参加し、高校生のいまを追いかけてきました。講師はまちづくりやボランティアについて調査研究をされている鳥取大学工学部 社会シ

ステム土木系学科 助教の長曾我部まどかさんです。

「夢ゼミ」は、大学の授業に近い



形で行われ、ボランティアの語源や意味の解説を踏まえ、「ボランティア」について自分なりのイメージを膨らませることから始まりました。2つに分かれたグループワークでは、質問に対する自分の意見を書いた付箋を円形ダンボールへ貼っていく「えんたくた」

鳥取県ボラセン
キャラクター
「はーちゃん」



が活躍。ボランティアとは何か、なぜボランティアに参加するのかを問いかけ、それぞれ自分の意見を付箋に書きます。そして、いざボランティアに参加するために自分にとってワクワクすることや得意なことを探し、今何を学んでおきたいかを見つけていきます。グループには北栄町協の前田さん、小谷さんや長曽我部さんも加わり、メンバーと熱心に意見交換をする中で新たな気づきや発見があったようです。特に「ボランティアのイメージ」については「人や地域の役に立つ」という考えの意見が多くあり、社会性が覗えました。

長曽我部さんは出身地である



長曽我部助教

熊本県から北栄町に移住し、中学生の頃からまちづくりに取り組みされてきた自身の経験から、「ボランティア活動を通して自分の好きなことや得意なことがわかること、地域の人と関わることで自分の新たな一面を発見できることがボランティア活動の魅力」と言います。

「地域探究の時間」担当の山根教諭は、「ボランティア活動を通じて自分の力が自分以外の人のためになることを体験し、普段の学校での学習も『自分のため』だけではないことを実感し、さらなる勉学へのモチベーションアップにつなげてほしい。普段関わる機会の少ない世代・職種の方々と関わりを持つ中でコミュニケーション力等社会で必要な力の育成につなげてほしい」とボランティア活動を通して生徒の成長へ期待を寄せています。

北栄町協の前田さんは「夢ゼミ」の後、生徒が街歩きガイドとなつて北栄町を歩く町歩きツアーのボランティア活動に注目。鳥取育英高校の生徒を主体とした「Let's GO 北栄ツアー×地域交流」の企画に期待を寄せています。

「交流の場として地域カフェを自ら企画し、地域の人を招待する。地域の様子や課題を聞いて自分達に何ができるか考えてみることで知る学びに交流体験を加えることで、生徒とのつながりと地域の活性化を期待したい」と希望を膨らませています。

ボランティア活動ではやりがいや達成感だけでなく、自分から発信する力や相手を尊重する力を身につけることもできます。「ボランティア・サークル」で高校生が自分の力を高め、それぞれのフィールドで活躍されることを願っています。



「えんたくん」を使ったグループワーク



ハイビスカスでつながりづくり「松友会」



松友会会長の水野彰さん

湯梨浜町はわい長瀬中部区の老人会「松友会」の会長、水野彰さんに老人クラブの活動についてお話を伺いました。

松友会は、年に2回の旅行、健康体操や脳トレを行うゆりりんサロン、ハイビスカスの見回り活動を中心に活動されています。そのうちのハイビスカスの見回り活動は、町がアメリカのハワイ州と姉妹提携していることから、何かハワイをイメージした取り組みが出来ないかと考え、平成27年から始めて今年で7年目になります。

5月にハイビスカスの苗を購入し鉢植えを行い、地域の高齢者世帯、独居世帯に配布し育ててもらいます。見守り隊を結成しており、配布した苗を育ててもらうだけでなく年に2回成育状況の点検に訪問して、見守り活動につなげています。

ハイビスカスは11月まで咲いては散りを繰り返すため、何度も花が咲くことを楽しみに世話をすることが生きがいに繋がっているようです。さらに玄関先に花があることで、ご近所との会話も増え交流のきっかけにもなっているようです。

令和元年には、ハワイアロハホールで20周年記念のハワイアンフェスティバルが開催され、皆さんが育てた花を会場に集めて展示しました。ハワイや全国の参加者の方から『とてもきれいでよかった』などの声をいただき、披露する場があることで大事に育ててよかったと喜びにもなりました。

コロナ禍で活動するにあたって何か大変だったことはあるか何うと、『3密を避けマスクの着用を徹底しているので、以前と変わらずに活動できている』『むしろ、水やりなど世話をするために外に出るきっかけにもなり、活動を続けることで閉じこもりがちな日々の中でも生きがいを感じ積極的に育てることにより、認知症予防にも繋がっている』と水野さん。高齢化が進む中、『地域の中での繋がりが交流のきっかけが出来てあり

がたい』と感謝の言葉をいただけたことが嬉しいと、笑顔で話してくださいました。

地域の方の声を伺いました

井坂さん 家族に育て方の方の相談などをしたりして、家庭内の会話も増えて楽しいです。

石川さん 年を重ねるごとに愛着が沸き今では朝起きて真っ先に水をやり、『今日は咲いとるかな』と見るのが楽しみです。『咲いてくれてありがとう』とまで声をかけたり、だんだんと我が子を育てるような愛しさが生まれるように



見回り活動の様子

なってきました。また、近所の方のハイビスカスを見学がてら散歩をしたり、時々家の車庫にイスを並べてする女子会でハイビスカスの話題で会話が弾みいろんな話が出てきて認知症予防にもなっています。

吉田さん パツと力いっぱい花が咲くので見栄えがよく、毎日花が咲くの待ち望んでいるところです。家の中で冬でも水やりをしたり、上手に年を越して数が増える楽しみがあります。



今年咲いたハイビスカス

みなさんの役にも立ちたいが、何よりこの活動が自分の生きがいやりがいにもなっていると水野さんはおっしゃいます。地域性を活かした活動を広めていただき、ハイビスカスの花のように華やかに地域を盛り上げてほしいと思います。

歩きは心の糧



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵なお年寄りを同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなくご紹介します。



「一般社団法人米子観光まちづくり公社」で設立当初から理事長を務める川越博行さん(65歳)にお話しを伺いました。

「一般社団法人米子観光まちづくり公社」は、川越さんが県職員時代から取り組んでいた有志によるまちづくり活

動をバージョンアップさせたいと、2018年3月に立ち上げられました。江戸時代に、城下町の水運を支えた米子市の外堀(加茂川)の河口近くに建てられた、かつての魚問屋「外江屋」をリノベーションした「米子まちな観光案内所」を拠点に、城下町米子の観光ガイドを一手に担っています。

活動内容は、まち歩きの情報提供、観光ガイドや和文文化体験の窓口、トイレ・休憩スペース、土産品の開発・販売、飲食物の提供など観光客向けのサービスと町家の保存や空き町家の活用に関する相談窓口、さらに野菜・干物・弁当販売など地元向けのサービスをしています。

最近、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ観光需要回復に向けた取り組みを始めました。

ひとつは、「コロナ禍の旅行ニーズに合わせた少人数向けのガイドツアー」です。標高90mの米子城の天守台で、オリジナルブレンドの美味しいコーヒーを味わいながら、地元シンガソングラ



イターによる星空ミニライブと星座解説が楽しめる「米子城スターウォッチングツアー」や、川面から城下町の風情が味わえる『加茂川カヤック体験』などです。

もうひとつは、多彩な専門家が独自の視点を持つ市民が企画しガイドする市民参画型ツアーです。米子の新たな魅力発見と人材発掘の一石二鳥を狙った取り組みです。

米子市の観光振興を目的に始めた事業ですが、今後は地元の方

にも気軽に立ち寄っていただけるよう地域貢献に力を注ぎ、観光客と地域住民のための観光案内所づくりを目指していきたいと意気込んでおられました。

川越さんからみなさんに一言

みなさんコロナ禍で旅行をあきらめていませんか？こんな時こそ、あえて地元を向けて楽しむ『小旅行』はいかがでしょうか。新型コロナウイルスの対策を講じた上で、この機会に地元の方々にもう一度地域の魅力を再発見していただきたいと願っています。よく知っているようで、初めて出会うような地元の魅力を見つけていただけるかもしれません。お気軽にお立ち寄りください。



取材を終えて一言
岡田 信行さんの(米子市)

人・そして地域の為、あらゆることを考え、それを実行に移されておられます。その行動に感動しています。これからも頑張ってください。

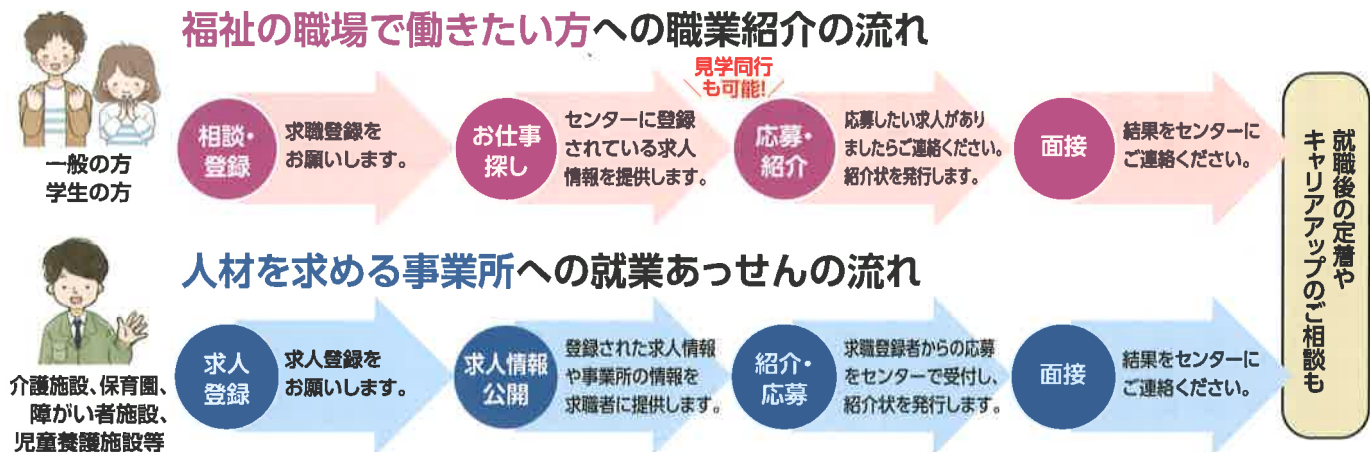
鳥取県福祉人材センターのご案内

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-4-010001】

■無料職業紹介事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行ないます。

また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



まずはご相談ください！

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会鳥取県福祉人材センター
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 TEL(0857)59-6336 FAX(0857)59-6341
【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事



とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティアの力を借りたい、ボランティアをしてみたい、そんなときは…とっとりボランティアバンクにご登録ください！

ボランティア活動調整
ボランティアを募集する方と、活動する方との調整を行います。

ボランティア活動に関する相談受付
ボランティア活動に関する困りごと、お悩み、助成金の申請方法など、何でもご相談ください。

ボランティアバンクではこんなお手伝いをします

ボランティア活動に関する情報提供(メルマガ)
登録された方に、ボランティア募集やボランティアに関する講座・研修などの情報をメールなどで提供します。

ボランティアバンクに登録いただくと…

県内外のボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。

とっとりボランティアバンクのHPやメルマガを通じてボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を発信できます。

ボランティアをしたい人(団体)

ボランティアの力を借りたい団体

誰かのために力になりたい、ボランティアしたいけどどこで募集してるの？、ボランティアと一緒に地域を元気にしたい、ボランティアの力を借りたい

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <http://www.torivc.jp/>



令和3年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

| 保険金の種類 | | プラン | 基本プラン | 天災・地震補償プラン | |
|---------|-------------------|--------|-------|--------------|---------|
| ケガの補償 | 死亡保険金 | | | 1,040万円 | |
| | 後遺障害保険金 | | | 1,040万円(限度額) | |
| | 入院保険金日額 | | | 6,500円 | |
| | 手術保険金 | 入院中の手術 | | | 65,000円 |
| | | 外来の手術 | | | 32,500円 |
| | 通院保険金日額 | | | 4,000円 | |
| 賠償責任の補償 | 地震・噴火・津波による死傷 | | × | ○ | |
| | 賠償責任保険金 (対人・対物共通) | | | 5億円(限度額) | |
| 年間保険料 | | | 350円 | 500円 | |

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行専用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引渡先〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区豊が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

HOTeyeギャラリー

NPO法人 あかり広場「あかりアート」作品介绍

★あかりを絶やさず、居場所を大切にすること

あかり広場では、障害のある人の社会参加の可能性を広げることを目的にH28年より専属アドバイザーを入れ、週1回程度「あかりアート」活動を開催しています。また、H30年より地元デザイナーなどの協力のもとアート商品の開発にも着手しております。出展歴:皆生温泉ライトアップイベント(米子市主催)(H30年) あいサポートアート作品展(H30年~R2年) レストランcafe&rest O' tyano(カフェ&レスト オ・ティアノ)にて個展(H30年~R2年)



作者:G.Sさん



アート活動風景

G.Sさんから一言コメント
好きな人を書いている。
ダンスが好き。また旅行にいきたい。



トートバック原画作家
作者:M.Kさん

※繊細な作品のため作画の一部を拡大



作品をモチーフに制作されたトートバッグ

M.Kさんからの一言コメント
乗り物とか、まわりにいる人とか、戦隊ものを描くのが好き
(車、電車など)。
畑作業とか洗車の仕事、パン販売を頑張っています。

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)
URL <http://www.tottori-wel.or.jp> e-mail soumu@tottori-wel.or.jp

福祉人材の
求人・求職
の窓口です

鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
URL http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/shigoto_top/
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp

ボランティア活動の
幅を広げる
活動を応援します

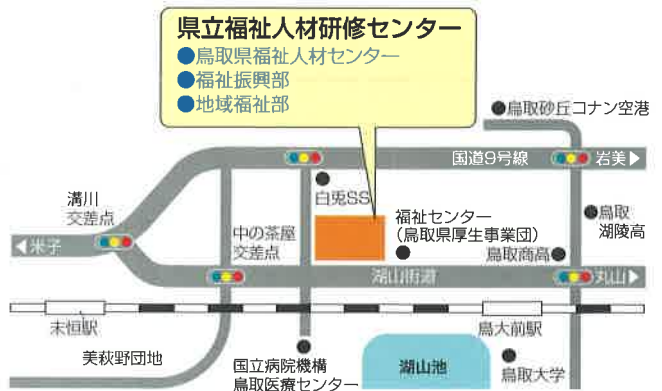
ボランティア・活動支援担当

ボランティア担当 TEL.0857-59-6336
福祉・教育担当 TEL.0857-59-6344
FAX.0857-59-6341
URL http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/vol_top/
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

元気な高齢者の
生きがい・社会貢献
を支援します

明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340
URL <http://www.tottori-wel.or.jp/p/chiiki/kotobuki/>
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp



本誌について、また、福祉に関することについて
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。



鳥取県男女共同参画推進企業